


発表項目 (行事名)	<b>令和5年度「北海道男女平等参画チャレンジ賞」 受賞者の決定及び贈呈式の開催について【知事出席行事】</b>		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【ポイント】</p><ul style="list-style-type: none"><li>男女平等参画社会の実現に寄与することを目的として、社会のあらゆる分野で個性と能力を生かしてチャレンジし、活躍している方々や、そうしたチャレンジを支援している方々を表彰する「北海道男女平等参画チャレンジ賞」について、令和5年度の受賞者を決定しました。</li></ul></div> <p><b>1 受賞者</b> おおいわまゆみ ・大岩真由美さん(伊達市) ほつたゆき ・堀田悠希さん(札幌市)</p> <p><b>2 贈呈式</b> (1) 日時: <u>令和6年(2024年)2月7日(水) 10:00~</u> (30分程度) (2) 場所: 本庁舎3階知事会議室 (3) 出席者: 受賞者 知事 北海道男女平等参画審議会専門部会長</p>		
参 考	・受賞者等詳細については、北海道道民生活課女性支援室ホームページからご覧いただけます。 ・道ホームページURL <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/challengeprize/challe_top.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/challengeprize/challe_top.html</a> 		
報道(取材)に当たってのお願い	○ 受賞者の個性と能力を活かした活動を広くご紹介することにより、男女平等参画社会の実現に向けて、道民の皆様に理解を深めていただきたいと考えておりますので、積極的な報道につきまして、よろしくお願ひします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ、十勝総合振興局記者クラブと同時配布	
担 当 (連絡先)	環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室(担当者:主幹 小林) TEL ダイヤルイン: 011-206-6954 (内線 24-157) 公用スマホ: 011-585-6104 (内線 42846)		

## 輝く女性のチャレンジ賞

### 受賞者紹介



おおいわ まゆみ  
**大岩 真由美** 氏（伊達市）

（公財）北海道サッカー協会 副会長

室蘭地区サッカー協会副会長

今から約30年前、まだまだ男性社会であったサッカー界に足を踏み入れ、様々な可能性にチャレンジをさせて頂きました。生涯サッカーを楽しむために選手以外にも「審判員」という関わり方の中で、まだ女性ではなかった「審判インストラクター」や女性の数が圧倒的に少ない組織の理事としても関わった結果、新たな道（選択肢）を増やすことができました。自分の後に続いてきた仲間たちが増えてきたことや、その中で更に「道」を広げてくれる仲間の活躍を実感しております。

そして、自分の経験がサッカー界に限らず、教育現場や様々な団体から取材講演会などにお声がけいただき、「女性活躍」や「夢をあきらめない」などをテーマにした内容で、サッカーに親しみのない方々へも発信できるようになりました。また、自分が住んでいる伊達市にて市民参加推進会議などのメンバーとなり「まちづくり」の手伝いにも参加できるチャンスにも恵まれました。

いずれの活動も周囲の方々の理解や協力があったからこそできたものであり、今後も様々な活動を通じ、夢と活力を与えることができればと思っております。



## 輝く女性のチャレンジ賞

ほった ゆき  
**堀田 悠希** 氏（土幌町）

株式会社 at LOCAL 代表取締役

「日本一町民に必要とされる道の駅」をビジョンに掲げ、2016年に「株式会社 at LOCAL」を設立、2017年に開設した道の駅ピア21しほろの運営を行っております。現在50名の在籍スタッフや町民の皆さんと一緒にイベントの企画や商品開発を通して、地元の人にとっては地元がより誇れるように、観光客にとっては土幌町がより特別な地域になる仕組みづくりの活動を行っております。

2012年、農家に嫁ぐことがきっかけで土幌町へ移住・就農しました。自分のこれまでのキャリアを農業でも活かしたいという思いから、お客様の顔が見える直接販売を開始。さらに、十勝管内の女性農業者からなる「農と暮らしの委員会」を設立するなどの活動を行っています。

農と暮らしの委員会では「女性農業者が自ら役割を見つけ、互いに情報交換が気軽にできるネットワークの創造」をコンセプトとし、会員のレシピを用いた食べれるマルシェの開催や勉強会などの活動を続けています。

これからも、誰もが自分らしく・どう在りたいか、を表現しやすく。そして、自身の幸せの追求をできる組織づくりを行って参りたいと思っております。

